

## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月28日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オリエンタルランド  
コード番号 4661 URL <http://www.olc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上西 京一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 堀川 健司

TEL 047 - 305 - 2035

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	464,450	11.6	96,862	25.1	98,062	24.2	62,217	31.1
2019年3月期	525,622	9.7	129,278	17.2	129,439	15.9	90,286	11.2

(注) 包括利益 2020年3月期 51,649百万円 (44.9%) 2019年3月期 93,754百万円 (10.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	189.23	183.31	7.7	9.5	20.9
2019年3月期	274.65	267.59	11.8	13.2	24.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 183百万円 2019年3月期 349百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,010,651	820,257	81.2	2,505.55
2019年3月期	1,051,455	803,201	76.4	2,442.97

(参考) 自己資本 2020年3月期 820,257百万円 2019年3月期 803,201百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	73,336	20,534	55,257	261,164
2019年3月期	134,974	135,360	36,601	222,551

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		20.00		22.00	42.00	13,825	15.3	1.8
2020年3月期		22.00		22.00	44.00	14,451	23.2	1.8
2021年3月期(予想)								

(注) 1. 配当金総額には、従業員持株会型ESOPの信託口に対する配当金支払額(2019年3月期17百万円、2020年3月期14百万円)を含んでおります。

配当性向は、この配当金総額を親会社株主に帰属する当期純利益で除して算出しています。

2. 2021年3月期の第2四半期末及び期末の配当については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。詳細は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(5)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	363,690,160 株	2019年3月期	363,690,160 株
期末自己株式数	2020年3月期	36,313,892 株	2019年3月期	34,908,727 株
期中平均株式数	2020年3月期	328,800,343 株	2019年3月期	328,734,918 株

(注) 従業員持株会型ESOPの信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	396,308	11.9	82,968	24.3	94,432	20.5	62,977	26.5
2019年3月期	449,784	10.2	109,658	15.8	118,726	14.1	85,662	13.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	191.54	185.54
2019年3月期	260.58	253.92

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	959,056	760,688	79.3	2,323.59
2019年3月期	996,342	741,812	74.5	2,256.25

(参考) 自己資本 2020年3月期 760,688百万円 2019年3月期 741,812百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報 .....	3
(5) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結損益計算書関係) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

※ 当社は、以下のとおり投資家向け電話説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・ 2020年4月28日(火)・・・・・・機関投資家向け決算電話説明会

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期における国内経済は、雇用・所得環境の改善傾向により緩やかに回復しており、個人消費にも持ち直しの動きが見られていました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当期の終盤にかけて大幅に下押しされており、厳しい状況にあります。

当社グループにおいては、東京ディズニーリゾート35周年イベントの翌年であるものの、東京ディズニーシーにオープンした新規アトラクション「ソアリン：ファンタスティック・フライト」及び両パークで開催した季節感あふれるスペシャルイベントが好評を博したことから、入園者数が好調に推移しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東京ディズニーランド・東京ディズニーシーの両パークを2020年2月29日から休園いたしました。また、同期間中、当社直営ディズニーホテルも一部内容を変更して営業いたしました。

両パークが臨時休園となったことからテーマパーク入園者数は減少したことに加え、ゲスト1人当たり売上高も減少した結果、売上高は464,450百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益は96,862百万円（同25.1%減）、経常利益は98,062百万円（同24.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は62,217百万円（同31.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

### 2020年3月期 セグメント別業績の概況

(単位：百万円)

	前期	当期	増減	増減率 (%)
売上高	525,622	464,450	△61,172	△11.6
テーマパーク	437,495	384,031	△53,464	△12.2
ホテル	72,427	64,375	△8,051	△11.1
その他	15,699	16,043	344	2.2
営業利益	129,278	96,862	△32,415	△25.1
テーマパーク	107,278	79,660	△27,618	△25.7
ホテル	19,218	14,769	△4,449	△23.2
その他	2,527	2,161	△365	△14.5
消去又は全社	253	271	18	7.1
経常利益	129,439	98,062	△31,376	△24.2
親会社株主に帰属する当期純利益	90,286	62,217	△28,068	△31.1

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の資産の部合計は、1,010,651百万円（前期末比3.9%減）となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少などにより、316,741百万円（同28.3%減）となりました。

固定資産は、有形固定資産の増加などにより、693,910百万円（同13.8%増）となりました。

#### (負債)

当連結会計年度末の負債の部合計は、190,394百万円（同23.3%減）となりました。

流動負債は、1年内償還予定の社債の減少などにより、100,495百万円（同35.0%減）となりました。

固定負債は、その他の固定負債の減少などにより、89,898百万円（同4.0%減）となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末の純資産の部合計は、利益剰余金の増加などにより、820,257百万円（同2.1%増）となり、自己資本比率は81.2%（同4.8ポイント増）となりました。

**(3) 当期のキャッシュ・フローの概況**

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスになったものの、営業活動によるキャッシュ・フロー及び投資活動によるキャッシュ・フローがプラスになったことから、261,164百万円（前期末残高222,551百万円）となりました。

**(営業活動によるキャッシュ・フロー)**

営業活動によるキャッシュ・フローは、73,336百万円（前年同期134,974百万円）となりました。前年同期に比べ、収入が減少した要因は、税金等調整前当期純利益が減少したことなどによります。

**(投資活動によるキャッシュ・フロー)**

投資活動によるキャッシュ・フローは、20,534百万円（同△135,360百万円）となりました。前年同期に比べ、収入が増加した要因は、定期預金の払戻による収入が増加したことなどによります。

**(財務活動によるキャッシュ・フロー)**

財務活動によるキャッシュ・フローは、△55,257百万円（同36,601百万円）となりました。前年同期に比べ、支出が増加した要因は、自己株式の取得による支出が増加したことなどによります。

**(4) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報**

新型コロナウイルス感染拡大の状況並びに政府、自治体からの要請等を踏まえ、東京ディズニーランド及び東京ディズニーシーを臨時休園しており、当社直営のディズニーホテルやイクスピアリ等についても、現在営業を休止しております（イクスピアリは医療機関、薬局、スーパーを除き休業）。両パークの再開時期については2020年5月中旬に判断することとしております。政府からは「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づいて4月7日に「緊急事態宣言」が発表され、これに基づき千葉県知事から、5月6日まで休業要請を受けております。5月7日以降についても、緊急事態宣言が継続する場合には臨時休園の状態が続くこととなります。

先行きの見通しが難しい状況ではありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症に関する情報収集及び対応を実施し、その影響の最小化に努めてまいります。こうした状況のなか、当社グループの重要と考えるリスク及び対応については以下のとおりです。

**(財政状態及びキャッシュ・フローの悪化リスクについて)**

臨時休園の間、売上高が著しく減少する一方で、人件費等の営業費用や商品等の棚卸資産の廃棄に伴う損失が発生しております。運転資金については、内部資金を充当することにより対応しておりますが、臨時休園が長引いた場合には、資金調達が必要となる可能性があります。そのため当社では、新規の資金調達枠についても検討を行っております。

パークを再開した場合でも、景気の落ち込み等によるレジャーに対する消費マインドの低下や感染症対策の実施等により、一時的に入園者数が減少し、売上高の減少など当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

また、現在、東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクト、及び『トイ・ストーリー』シリーズをテーマとした新ディズニーホテルの建設を進めております。当該設備投資資金は営業キャッシュ・フローを充当する予定ですが、これらの設備投資資金の調達も必要になる可能性があります。

**(従業員の感染リスクに対する取組みについて)**

当社グループでは、感染拡大の防止及び従業員の安全を考慮し、勤務時のマスク着用や出勤前の検温、国内外への出張禁止等の取組みを実施いたしました。さらに、4月7日発表の政府「緊急事態宣言」を受け、事業継続に必要な業務に従事する従業員のみを出勤させることとし、その他の従業員に対しては原則、在宅勤務または自宅待機を命じております。

**(5) 今後の見通し**

当社グループの主力事業であるテーマパーク並びにホテルは臨時休業をしており、現時点で営業再開の時期は未定となっております。今後、営業再開となった場合でも、レジャーに対する消費マインドの動向等、外部環境の状況によっては、通常レベルの営業に至るまでに期間を要する可能性があります。

このような状況のなか、合理的な業績予想を示すことは非常に困難なことから、連結業績予想については、予測可能となり次第速やかに開示することといたします。

**2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方**

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	377,551	261,164
受取手形及び売掛金	22,083	7,225
有価証券	20,999	19,999
商品及び製品	9,256	11,679
仕掛品	477	172
原材料及び貯蔵品	7,590	8,236
その他	3,882	8,263
貸倒引当金	△5	△0
流動資産合計	441,835	316,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	686,623	723,221
減価償却累計額	△415,651	△432,208
建物及び構築物 (純額)	270,971	291,012
機械装置及び運搬具	270,947	283,504
減価償却累計額	△242,821	△248,946
機械装置及び運搬具 (純額)	28,125	34,557
土地	117,653	117,653
建設仮勘定	82,342	152,165
その他	90,917	94,914
減価償却累計額	△75,689	△79,716
その他 (純額)	15,228	15,197
有形固定資産合計	514,322	610,586
無形固定資産		
その他	13,770	16,334
無形固定資産合計	13,770	16,334
投資その他の資産		
投資有価証券	60,810	46,925
退職給付に係る資産	5,666	5,492
その他	15,140	14,659
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	81,527	66,989
固定資産合計	609,619	693,910
資産合計	1,051,455	1,010,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,907	13,921
1年内償還予定の社債	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	6,119	4,580
未払法人税等	22,470	7,991
その他	86,154	74,001
流動負債合計	154,652	100,495
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	2,304	2,488
退職給付に係る負債	4,483	3,537
その他	6,813	3,873
固定負債合計	93,601	89,898
負債合計	248,253	190,394
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	63,201	63,201
資本剰余金	111,938	111,970
利益剰余金	696,718	744,452
自己株式	△89,183	△109,325
株主資本合計	782,674	810,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,320	9,623
繰延ヘッジ損益	—	74
退職給付に係る調整累計額	1,206	261
その他の包括利益累計額合計	20,526	9,958
純資産合計	803,201	820,257
負債純資産合計	1,051,455	1,010,651

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	525,622	464,450
売上原価	326,283	300,601
売上総利益	199,339	163,849
販売費及び一般管理費	70,061	66,986
営業利益	129,278	96,862
営業外収益		
受取利息	146	162
受取配当金	707	758
受取保険金・保険配当金	508	437
その他	837	1,224
営業外収益合計	2,198	2,582
営業外費用		
支払利息	222	291
持分法による投資損失	349	183
支払手数料	754	582
その他	710	324
営業外費用合計	2,037	1,382
経常利益	129,439	98,062
特別利益		
投資有価証券売却益	—	341
特別利益合計	—	341
特別損失		
臨時休園による損失	—	※ 9,270
特別損失合計	—	9,270
税金等調整前当期純利益	129,439	89,133
法人税、住民税及び事業税	39,193	25,048
法人税等調整額	△40	1,868
法人税等合計	39,153	26,916
当期純利益	90,286	62,217
親会社株主に帰属する当期純利益	90,286	62,217



## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	90,286	62,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,735	△9,697
繰延ヘッジ損益	314	74
退職給付に係る調整額	△580	△944
その他の包括利益合計	3,468	△10,568
包括利益	93,754	51,649
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	93,754	51,649
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,201	111,911	619,599	△89,794	704,918
当期変動額					
剰余金の配当			△13,167		△13,167
親会社株主に帰属する当期純利益			90,286		90,286
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		26		611	638
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	26	77,118	611	77,756
当期末残高	63,201	111,938	696,718	△89,183	782,674

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	15,585	△314	1,787	17,058	721,976
当期変動額					
剰余金の配当					△13,167
親会社株主に帰属する当期純利益					90,286
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					638
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,735	314	△580	3,468	3,468
当期変動額合計	3,735	314	△580	3,468	81,224
当期末残高	19,320	—	1,206	20,526	803,201

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,201	111,938	696,718	△89,183	782,674
当期変動額					
剰余金の配当			△14,484		△14,484
親会社株主に帰属する当期純利益			62,217		62,217
自己株式の取得				△20,745	△20,745
自己株式の処分		31		603	635
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		31	47,733	△20,141	27,623
当期末残高	63,201	111,970	744,452	△109,325	810,298

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	19,320	—	1,206	20,526	803,201
当期変動額					
剰余金の配当					△14,484
親会社株主に帰属する当期純利益					62,217
自己株式の取得					△20,745
自己株式の処分					635
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△9,697	74	△944	△10,568	△10,568
当期変動額合計	△9,697	74	△944	△10,568	17,055
当期末残高	9,623	74	261	9,958	820,257

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	129,439	89,133
減価償却費	38,214	39,447
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△367	△814
受取利息及び受取配当金	△853	△920
支払利息	222	291
為替差損益 (△は益)	14	2
持分法による投資損益 (△は益)	349	183
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△341
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,134	14,742
たな卸資産の増減額 (△は増加)	649	△2,764
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,421	△7,384
未払消費税等の増減額 (△は減少)	393	△8,748
その他	1,690	△11,176
小計	171,041	111,653
利息及び配当金の受取額	908	991
利息の支払額	△206	△291
法人税等の支払額	△36,768	△39,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,974	73,336
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△290,000	△340,000
定期預金の払戻による収入	250,000	500,000
有価証券の取得による支出	△38,998	△67,996
有価証券の償還による収入	34,708	63,997
有形固定資産の取得による支出	△78,574	△126,974
無形固定資産の取得による支出	△5,277	△7,358
投資有価証券の取得による支出	△4,398	△1,499
投資有価証券の売却による収入	—	1,854
その他	△2,820	△1,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,360	20,534
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	3,850	5,000
長期借入金の返済による支出	△5,011	△6,354
社債の発行による収入	49,855	—
社債の償還による支出	—	△20,000
配当金の支払額	△13,134	△14,444
自己株式の取得による支出	△0	△20,745
自己株式の売却による収入	1,046	1,309
その他	△3	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,601	△55,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	36,200	38,613
現金及び現金同等物の期首残高	186,350	222,551
現金及び現金同等物の期末残高	222,551	261,164

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

※臨時休園による損失

新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の環境下において、臨時休園期間中のテーマパーク事業で発生した固定費（人件費・減価償却費など）及び商品・原材料の廃棄損等を計上しております。なお、当社グループの運営する東京ディズニーランド・東京ディズニーシーは、2020年2月26日の「多数の人が集まるような全国的なスポーツ、文化イベント等については、今後2週間中止、延期または規模縮小等の対応を要請する」との政府からの発表を受け、2月29日より臨時休園をいたしております。その後も、新型コロナウイルス感染拡大の状況並びに政府、自治体からの要請等、また国内外の状況に鑑み、現在に至るまで臨時休園を延長しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社の関係会社は、テーマパーク及びホテル等の経営・運営を主な事業としていることから、サービスの種類・性質及び販売市場の類似性等を考慮し、「テーマパーク」及び「ホテル」を報告セグメントとしております。

「テーマパーク」はテーマパークを経営・運営しております。「ホテル」はホテルを経営・運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	テーマ パーク	ホテル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	437,495	72,427	509,923	15,699	525,622	—	525,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,991	641	7,632	3,949	11,581	(11,581)	—
計	444,487	73,068	517,555	19,648	537,204	(11,581)	525,622
セグメント利益	107,278	19,218	126,497	2,527	129,024	253	129,278
セグメント資産	664,289	89,203	753,493	44,944	798,438	253,016	1,051,455
その他の項目 (注) 4							
減価償却費	32,025	3,940	35,966	2,281	38,247	(33)	38,214
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	80,774	1,978	82,753	3,362	86,116	(66)	86,050

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イクスピアリ事業、モノレール事業、グループ内従業員食堂運営事業等を含んでおります。

2. (1) セグメント利益の調整額は253百万円であり、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額253,016百万円には、セグメント間取引消去△4,792百万円、各セグメントに配分していない全社資産257,809百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金及び預金、有価証券)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	テーマ パーク	ホテル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	384,031	64,375	448,406	16,043	464,450	—	464,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,676	558	7,235	3,905	11,140	(11,140)	—
計	390,708	64,934	455,642	19,948	475,591	(11,140)	464,450
セグメント利益	79,660	14,769	94,429	2,161	96,591	271	96,862
セグメント資産	813,807	85,384	899,191	45,641	944,832	65,819	1,010,651
その他の項目 (注) 4							
減価償却費	30,532	3,873	34,405	2,396	36,802	(41)	36,760
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	129,930	5,117	135,048	4,607	139,655	(28)	139,626

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イクスピアリ事業、モノレール事業、グループ内従業員食堂運営事業等を含んでおります。

2. (1) セグメント利益の調整額は271百万円であり、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額65,819百万円には、セグメント間取引消去△2,106百万円、各セグメントに配分していない全社資産67,925百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金及び預金、有価証券)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,442.97円	2,505.55円
1株当たり当期純利益金額	274.65円	189.23円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	267.59円	183.31円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	90,286	62,217
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(百万円)	90,286	62,217
普通株式の期中平均株式数(千株)	328,734	328,800
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	244	212
(うち支払手数料(税額相当額控除後) (百万円))	(244)	(212)
普通株式増加数(千株)	9,588	11,778
(うち新株予約権(千株))	(9,588)	(11,778)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(注) 従業員持株会型E S O Pの信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度402千株、当連結会計年度310千株)。また、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度447千株、当連結会計年度356千株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。